

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。*ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。
<イベントについて> *【無申込】の表記がないイベントは申込不要です。*【有料】(材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
*【無申込】のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から一ヶ月前が休日の場合は翌開催日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。
*【無申込】のイベントは、原則として開催日の同時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページでもお知らせいたします。

企画展「新選組2022 -史料から辿る足跡」関連イベント

記念対談「ダブル子孫で語る～土方歳三と和泉守兼定～」 要申込 定員100名(申込締切7/8)
7/30(土)13:30～15:00 講堂
土方愛さん(土方歳三資料館館長、土方歳三御子孫)、
ハーバート眞理子さん(フリーライター、十一代古川兼定御子孫)
※土方と兼定の御子孫による奇蹟の対談が実現。この機会をお見逃しなく！

記念講演会①「新選組局長・近藤勇を読み直す」 要申込 定員100名(申込締切7/15)
8/6(土)13:30～15:00 講堂
三野行徳さん(昭和女子大学専任講師、「新選組2022」監修者)
※展示監修者が新選組を率いた近藤勇を語り尽くします。

木刀絵付け体験「オリジナル刀剣をつくらう」 要申込 各回6組(申込締切7/22)
8/11(木・祝)①10:30～11:30、②13:30～14:30 実習室 当館学芸員
※観光土産の定番・木刀に色を塗ってオリジナル刀剣を作ろう！

天然理心流演武 要申込 定員100名(申込締切8/5)
8/28(日)13:30～14:30 講堂
宮川清蔵さん(天然理心流九代目宗家、近藤勇御子孫)、天然理心流勇武館の皆さん
※新選組局長・近藤勇の剣術、天然理心流が目目前によりみえます！

記念講演会②「会津藩と新選組」 要申込 定員100名(申込締切8/19)
9/10(土)13:30～15:00 講堂
大石学さん(東京学芸大学名誉教授、NHK大河ドラマ「新選組」時代考証)
※史料からみえる会津藩と新選組の姿に迫ります。

見どころ解説会 定員100名(先着順) 講堂 各回とも17:00～17:30
①7/23(土) ②8/13(土) ③8/27(土) ④9/3(土) ⑤9/17(土) ⑥9/18(日)

★企画展「新選組2022」の要申込イベントは、インターネットまたは往復はがきにて申込みを受け付けます。申込み多数の場合は抽選となります。1回のお申込みでの受け付け可能人数は2名様までです。お申込みは6/15(水)から各イベント開催日の3週間前金曜日まで受け付けます(往復はがきの場合は各日消印有効)
■インターネット
福島民友新聞のホームページ「みんゆうNet」から「イベント」→「文化(写真・文芸等)」→「新選組2022」内にある「お申込みはこちら」へ申込み。必要事項を入力して下さい。後ほど申込み完了メールをお送りします。
■往復はがき
往復表裏面に〒960-8648(住所不要)福島民友新聞社事業部内新選組展2022事務局、往復裏面に「申込み者全員(最大2名様まで)の氏名、申込み代表者の郵便番号、ご住所、電話番号、参加希望イベント名」をご記入下さい。

ミュージアムイベント

会津磐梯山市民盆踊り
8/14(日)19:00～20:30 前庭 会津磐梯山盆踊り保存会のみなさん
※会津磐梯山のリズムに乗って、お盆の供養として踊らされた盆踊りをこー精に。

夏休みナイトミュージアム 要申込 定員20組80名
8/20(土)17:00～19:30 総合展示室
※いつもと違う真っ暗な展示室を探索しよう！

キッズ・ファミリー向けイベント

博物館でも読み聞かせ 定員15名(先着順) 各回とも①11:00～11:30 ②14:00～14:30
体験学習室ほか 読み聞かせボランティア団体の皆さん
7/9(土) 8/13(土) 9/10(土)
※ほっこりした時間をご家族で。

鉱物標本をつくらう 要申込 定員15名 有料 500円
8/7(日)13:30～15:00 実習室 博物館友の会化石鉱物探検隊のみなさん
※あなただけの鉱物コレクションを作りましょう！

子どもミニミニ博物館
8/11(木)、8/12(金)、8/13(土)、8/14(日) 10:30～15:30 体験学習室
※このためのお小さなはくぶつかんが登場！昔の遊びや工作、読み聞かせなど、はくぶつかに観しめるメニューを用意してお待ちしています。

親子で探検！はくぶつかんのウラ側 要申込 5組15名(小学生を含むご家族)
8/21(日)13:30～14:30 講堂集合
※けんぱくのウラ側(バックヤード)をお見せします！

ポイント展ミニ解説会 各回とも講堂 11:00～11:30 定員100名(先着順)

- ポイント展「人物シリーズ②伊達政宗と会津攻め」 7/3(日) 高橋充(当館副館長)
ポイント展「友の会化石鉱物探検隊ミニ成果展」 8/7(日) 友の会化石鉱物探検隊のみなさん
ポイント展「軍事郵便が繋いだ絆」 8/14(日) 栗原祐斗(当館学芸員)
ポイント展「ふくしま草食恐竜展」 8/21(日) 吉田純輝(当館学芸員)
ポイント展「みんなの震災遺産」 9/11(日) 筑波匡介(当館学芸員)
ポイント展「古墳から見つかったお経」 9/18(日) 平澤慎(当館学芸員)

より深く知りたい！聴きたい！ 講座いろいろ

美術講座 「下野からやってきた！南会津・田島の仏像」 定員100名(先着順)
7/2(土)13:30～15:00 講堂 深沢麻亜沙さん(栃木県立博物館学芸員)
※下野と南会津の仏教文化のつながりや仏像調査の様子をご紹介します！

特別講座 「詩人のいる博物館 文学とミュージアム①文学館は建物ではない、出来事だ」
要申込 会場・オンライン各定員100名
7/16(土)13:30～15:30 講堂
和合亮一さん(詩人)、萩原明美さん(萩原朔太郎記念・水と緑のまち前橋文学館館長)
※詩人の和合亮一さんとお送りする特別講座。前橋文学館を舞台とした多彩な活動をご紹介します。

民俗・二語講座 「記録映像で見るふくしまのくらし」 定員100名(先着順) 講堂
④7/17(日)10:30～12:00 「男山八幡神社のお浜下り」(2007年)
「白吉神社のお浜下り」(2016年)
※南相馬市で12年に1度行われる「お浜下り」。東日本大震災以前と以後の、貴重な行事の記録です。

考古学講座 「縄文土器を作ろう」 要申込 定員10名 有料 400円
7/30(土)・7/31(日)10:00～15:00 実習室・前庭 高橋清・山本俊(当館学芸員)
申込みは、7/30・31の両日および「縄文土器の野焼き」(10/2)に参加可能な方に限ります。
※粘土を掘り、縄文人のワザに挑戦しよう！

保存科学講座 「王申検査150年 正倉院宝物の保存の歴史をまなぼう！」 要申込 定員各回3組9名
8/20(土)①10:00～11:30、②13:30～15:00 実習室 杉崎保恵(当館学芸員)
※小中学生向けの内容でミニ講演と拓本体験とおして学びましょう！

ワークショップ 「中ノ沢こけしワークショップ～こけしに絵付けをしてみよう」
定員60名(先着順) 有料 1,500円 ※時間内随時受付、所要時間40分程度
8/21(日)10:00～12:00/13:00～15:00 体験学習室 柿崎文雄さん(中ノ沢こけし工房)
※今年で生誕100周年をむかえる中ノ沢こけし！数百年の中ノ沢温泉周辺で作られてきました。伝統を受け継ぐ工人さんに教えていただきながら、中ノ沢こけしの絵付けを体験していただきます。混雑時はお待ちいただく場合があります。

美術講座 美術放談3「神の顔れ・女の姿」 定員100名(先着順)
8/26(金)13:30～15:00 講堂 小林めぐみ・川延安直・塚本麻衣子(当館学芸員)
※美術放談シリーズ第3回目。神々の顕現する姿はどのように捉えられ表されてきたのか？日本美術や芸能のなかに探ります。

防災講座 「楽しいそなえ」 定員20名(先着順)
9/1(木)13:30～14:00 体験学習室 筑波匡介(当館学芸員)
※みんなで楽しめる工作をきっかけに、いざという時の備えを考えましょう。

特別講座 「詩人のいる博物館 文学とミュージアム②」 要申込 会場・オンライン各定員100名
9/3(土)13:30～15:30 講堂 和合亮一さん(詩人)、中原豊さん(中原中也記念館館長)
※「モノ」の形状をもたない「文学」を展示で見せる文学館ならではの取り組みを伺い、文学とミュージアムの交わりについて語り合います。

火災分野講座 「震災遺産を考える」 定員100名(先着順)
9/4(日)13:30～15:00 講堂 筑波匡介(当館学芸員)
※「震災遺産」と「問い」で、災害伝承の持続可能性について考えます。

ワークショップ 「中ノ沢こけし～ふくしまの郷土玩具～」解説会 定員100名(先着順)
9/24(土)13:30～14:30 講堂 山口弘(当館学芸員)
※東北各地のこけしを比べながら、中ノ沢こけしの特徴や歴史についてわかりやすくお話しします。

【7～9月のポイント展】

*ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。ミニ解説会(本頁参照)にもお越しください。

- 松枝岐の歌舞伎衣装 ～8/14
※奥会津・松枝岐の人々が守り伝えてきた松枝岐歌舞。歴史ある衣装・小道具をご覧ください。
● 人物シリーズ②伊達政宗と会津攻め 7/1～8/31
※政宗の襲来に備えて築かれた北城原村の柏木城跡。今年3月に国史跡に指定された城のようも紹介します。
● ふくしま草食恐竜展 7/23～9/2
※福島県からみつかる草食恐竜たちを紹介！
● みんなの震災遺産 7/23～9/25
※「いつも」と「もしも」の備えを考えるきっかけとなりますように！
● 友の会化石鉱物探検隊ミニ成果展 8/2～9/19
※毎年好評！魅力的な鉱物たち。
● 軍事郵便が繋いだ絆 8/6～10/14
※軍人とその家族は葉書や手紙にどのような思いを託したのか。近年ご寄贈頂いた資料を中心に紹介します。
● 古墳から見つかったお経 9/1～10/7
※古墳から出土した石に書かれていたものとは？
● 人物シリーズ③会津藩の歴史編纂と山川兄弟 9/1～10/30
※山川清・健次郎兄弟が後世に伝えたかった思いとは？

2022年7月・8月・9月イベントカレンダー

Calendar table showing dates from July to September with event indicators for each day.

■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)
※県民の日8/21、敬老の日9/19はすべての方の常設展観覧料が無料です。
■企画展観覧料「新選組展2022 -史料から辿る足跡」
一般・大学生1,300円(1,000円)、高校生800円(640円) ()内は前売券及び20名以上の団体料金。
*企画展チケットで常設展もご覧いただけます(企画展開催中有効)。
*中学生以下は常設展・企画展ともに無料です。
■年間パスポート 2,000円
購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展が何度でもご覧いただけます。



福島県立博物館 Fukushima Museum
開館時間9:30～17:00(最終入館は16:30まで)
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
〒965-0807 会津若松市城東町1-25
HP https://general-museum.fcs.ed.jp e-mail general-museum@fcs.ed.jp

HP https://general-museum.fcs.ed.jp e-mail general-museum@fcs.ed.jp

なじよなVol.12 7～9月号 2022年6月21日発行 発行/福島県立博物館

Vol. 12 2022 7～9月号



Vol. 12 2022 7～9月号

Vol. 12 2022 7～9月号

三の丸からプロジェクト
福島県立博物館多言語化事業で常設展示室に
多言語(英語・中国語)解説サインを新設。
英語・中国語ユーザーの方ともぜひお出かけください。

Vol. 12 2022 7～9月号

福島県立博物館

福島県立博物館



組新選 2022

- 【展示構成】
- プロローグ 尊王攘夷の幕末
 - 第1章 京都守護職と多摩の草莽
 - 第2章 新選組誕生—幕末の京都政局
 - 第3章 池田屋事件と一合衆勢力
 - 第4章 戊辰戦争へ
 - 第5章 土方歳三の新選組と会津戦争
 - エピローグ それぞれの戦後

会津藩主・松平容保は、文久2年(1862)に京都守護職に就任し、藩士たちを率いて上洛します。以来5年間、一度も国元に帰らず朝廷と幕府の間で奔走しました。その配下として活動したのが新選組です。本展は京都守護職と新選組をテーマに、ゆかりの京都と会津で関連資料を一挙公開する巡回展です。

会期:7月23日(土)~9月19日(月・祝)

*前期 7/23~8/21 後期 8/23~9/19

会場:企画展示室/部門展示室 歴史・美術

- ★夜間開館日:企画展に限り、19:00まで観覧いただけます(入館は18:00まで)
- <7月> 23(土) 30(土)
- <8月> 6(土) 11(木・祝) 12(金) 13(土) 27(土)
- <9月> 3(土) 10(土) 17(土) 18(日)

観覧料 一般・大学生1,300円(1,000円)、高校生800円(640円)、中学生以下無料 ()内は前売券(7月22日まで販売)及び20名以上の団体料金。企画展料金で常設展もご覧いただけます。前売券販売場所は、公式ホームページが企画展チラシをご覧ください。

主催:新選組展2022福島会場実行委員会(福島県立博物館、福島民友新聞社、福島中央テレビ)、読売新聞社
監修:三野行徳(昭和女子大学専任講師、NHK大河ドラマ「新選組!」資料提供)
特別協力:日野市ふるさと文化財課(新選組のふるさと歴史館)
協力:一般財団法人会津若松観光ビューロー
後援:福島県、福島県教育委員会、会津若松市、白河市、極上の会津プロジェクト協議会、会津若松市ナイトタイムエコノミー推進協議会、会津の文化×地域振興プロジェクト協議会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、会津若松商工会議所、福島テレビ、福島放送、テレビユー福島、NHK福島放送局、ふくしまFM、ラジオ福島、河北新報社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、産経新聞福島支局

書簡は約4m20cm!
本文は139行、宛名はなんと18人...
地元の多数の関係者に、思いのたけを伝えています!



展覧会担当 阿部綾子学芸員

写真と画像で見る! 主な登場人物・その時何歳?

本展で展示する写真や画像の一部をご紹介します。(写真は作品保護のため、前・後期入替となるものもあります)

新選組の名が広く知られたるきっかけとなったのは、元治元年(1864)6月5日の池田屋事件。その時、それぞれ何歳だったのでしょうか...
*()内は数え年です。

- 満29歳(31歳) 近藤勇写真(土方歳三資料館蔵)
- 満20歳(21歳) 高橋一(藤田五郎)写真(個人蔵・当館寄託)
- 満29歳(30歳) 土方歳三写真(土方歳三資料館蔵)
- 満26歳(28歳) 松平容保写真(個人蔵・当館寄託)
- 満32歳(34歳) 孝明天皇御影(泉涌寺蔵) *部分
- 満47歳(49歳) 二条斉敬像(同志社大学歴史資料館蔵) *部分

会津藩主・京都守護職・新選組の責任者、近藤を信頼
会津藩主、京都守護職、新選組のリーダー
会津藩主、京都守護職、新選組の責任者、近藤を信頼
会津藩主、京都守護職、新選組の責任者、近藤を信頼

その長さに志がにじむ! 近藤勇の書簡

開東を出てから、忠(忠誠心)を朝廷に奉じ、身を藩府に捧げることは、私の志願でした。昔の人のことは「元全忠孝」「忠孝は両立しない」が、今、思い当たります。人目を忍び血涙を流すしかありません。命を落としたとしても、魂は故郷に帰ります。厚く感謝するでしよう。

近藤が留守にしている間、道場を守る仲間への感謝、朝廷や幕府への忠誠心、今後の見通しや覚悟などが伝わります。

部分拡大②(署名と宛名部分) 部分拡大①(近藤の志) 近藤勇書簡(小島資料館蔵)

なんと約4m20cm

詳しくは展覧会公式サイトをチェック!
福島会場 <https://shinsengumiten2022-fukushima.com/> 福島・京都共通 <https://shinsengumiten2022.jp/> 巡回情報:本展は秋には京都会場(京都文化博物館、10/1~11/27)に巡回します。展示資料も一部異なるので、ぜひ両方ご覧ください。

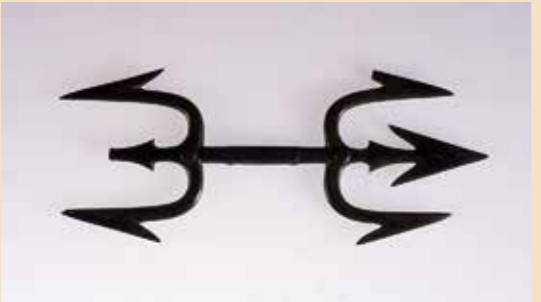
テーマ展 祈りのふくしま6 ~会津の祈り、願い~

会期:6月4日(土)~7月10日(日)
会場:部門展示室 歴史・美術
*常設展料金でご覧いただけます。

6回目を迎える「祈りのふくしま」。今年は会津に伝来する仏教美術にフォーカスしてその魅力をご紹介します。会津には早くから仏教が伝わり、人々の信仰を集めてきました。会津各地には恵日寺をはじめとして、平安時代、中世からの古い歴史をもつ寺院が点在し、多くの寺宝を伝えています。今年は、奈良時代から江戸時代にいたるまで、会津に伝わる各時代の仏教美術の優品をご紹介します。会津の仏教文化の歴史をたどります。時代によって異なる表現の特徴などもわかりやすくお伝えします。人々が何を願い、祈ってきたのか。会津に伝わる祈りの造形をぜひご覧ください。



大日如来坐像 喜多方市・泉福寺蔵(当館寄託)



白銅三鈷杵 磐梯町・恵日寺蔵(当館寄託)

【関連イベント】
今年秋、隣県の栃木県立博物館では開館40周年を記念して特別企画展「鑑真和尚と下野薬師寺〜天下三戒壇でつながる信仰の場〜」を開催。下野薬師寺から飛来したという伝説をもつ南会津町薬師寺の薬師如来像も展示されます(なじよな11号では福島県博と栃木県博の共同調査の様子についてご紹介しました)。7月2日(土)開催の美術講座「下野からやってきた! 南会津・田島の仏像」では、栃木県立博物館学芸員の深沢麻亜沙さんをお招きし、同展のみどころ、下野と南会津の仏教文化のつながりや調査の様子をお話しいたします。

テーマ展 中ノ沢こけし ~ふくしまの郷土玩具~

会期:8月16日(火)~10月30日(日)
会場:部門展示室 民俗
*常設展料金でご覧いただけます。

東北の郷土玩具「こけし」。猪苗代町の中ノ沢温泉周辺でも、通称「たこ坊主」とよばれるこけしが作られています。この「たこ坊主」、1922年に当地に移住してきた岩本善吉という工人が考案したといわれています。つまり今年で生誕100周年の節目を迎えることになるんです!今後ますます注目を集めるであろう中ノ沢こけしをご紹介します。

■担当学芸員の山口拡さんに聞きました!
Q こけしにも色々な種類があるんですか?
A 東北地方には有名なこけしの生産地がいくつもあります。そうした産地で伝統的な手法で作られるこけしを「伝統こけし」と呼んでいます。伝統こけしはその歴史や製作上の特徴によって、津軽系(青森)、南部系(岩手)、木地山系(秋田)、肘折系、山形系、蔵王系(山形)、鳴子系、作並系、遠刈田系、弥次郎系(宮城)、土湯系(福島)の11系統に分けられました。とはいえ、同じ系統でも1つのタイプに絞られているわけではなく、工人(こけしを作る職人のこと)の特徴も反映されるので、実際にはもっと多様なこけしをみることが出来ます。

Q 中ノ沢こけしはどの系統に入るんですか?
A 中ノ沢こけしは、同じ福島県の土湯温泉周辺で作られる土湯系こけしの一種とされてきました。両者が近い距離にあることも、そう考えられてきた理由だと思います。ただ、実際にはその歴史も絵付けの特徴も大きく異なります。そのため、中ノ沢では独立した系統として認めてもらおうという機運が高まり、2018年の第64回全国こけし祭りコンクールでは、初めて「中ノ沢こけし」の名称表記が認められました。中ノ沢こけしの大きな特徴といえば、大きな目とその周りの赤い線取り、ぼつりした鼻などが挙げられます。他では見ることができない個性的な顔立ちですね。



けんぱく・中のひと

【学芸員】 筑波匡介さん
着任5年目を迎えた学芸員・筑波さん。震災遺産を活用した防災教育に力を入れ、昨年度には災害分野を立ち上げました。筑波さんに、最近のお仕事について聞きました。



Q:防災教育でどんなことをしているのか、具体的に教えてください。
A:昨年度の対話型鑑賞を意識した「特集展 そなの芽」から引き続き、創造的な対話をひきだすために、資料を活用した講座を実施しています。学校や地域での防災教育と震災遺産類の資料活用は、親和性があると考えています。最近では中学校をはじめ、高校の探求の時間などでお声かけ頂くようになってきました。創造的な対話を通じて、災害を自分事として学び、防災を通じて地域の課題に目を向けるきっかけとなっていると感じています。

Q:これからのように展開してゆく予定ですか?
A:災害分野では、担当する震災遺産類の常設展示にむけて準備を進めています。東日本大震災を福島県の歴史の一部として展示するためには、対話を重ねながら、震災遺産とはなにかを、問い続けることが大切だと考えています。



中学校での講座 特集展での問いと資料



防災講座「楽しいそなえ」

きつぽはじよな

夏企画展 新選組展2022に来てね! 編
新しい仲間 がんちゃん
フタバスズキリュウ スズキー

謎の忍者マッキーは旅に出るぞ! さらばじゃ
いかないでー
ぼくがいるよー 新しい仲間のがんちゃんです!
ぼくは、県立博物館の(原始)のお部屋にいます。どこにいるか探しに来てね!
どこかなー

質問 おじさんたちは誰?
こんにちは、近藤勇です。私は、新選組の局長をしていたんだ。
こんにちは、土方歳三です。私は、新選組の副長だったんだ。この夏、博物館で私たちのことが紹介されるんだよ。
新選組は、京都でおしごとの会津の殿様に所属していたんだって。だから、会津藩と新選組は関係が深いんだね。

質問 新選組展2022では、初めて福島県で展示される資料があるんだって! それは何か?
私が、とっても大切にしていたものだよ。
ア 靴 ウ 箱 エ 貝
イ 正解は...この真のどこかで紹介されているよ。見つかったかな?
土方歳三

質問 これは、誰のサインかな?
すべて、近藤勇さんの書簡に書かれたサインだよ。色々なパターンがあるんだね。たくさん、お手紙を書いたことが分かるね!
近藤勇 近藤勇 近藤勇 近藤勇 近藤勇
ぜひ、本物を見に来てね。待ってま〜す!